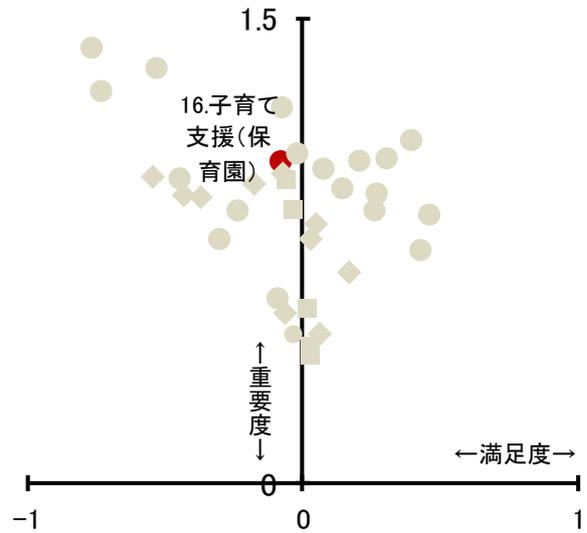


## 23 子育て支援

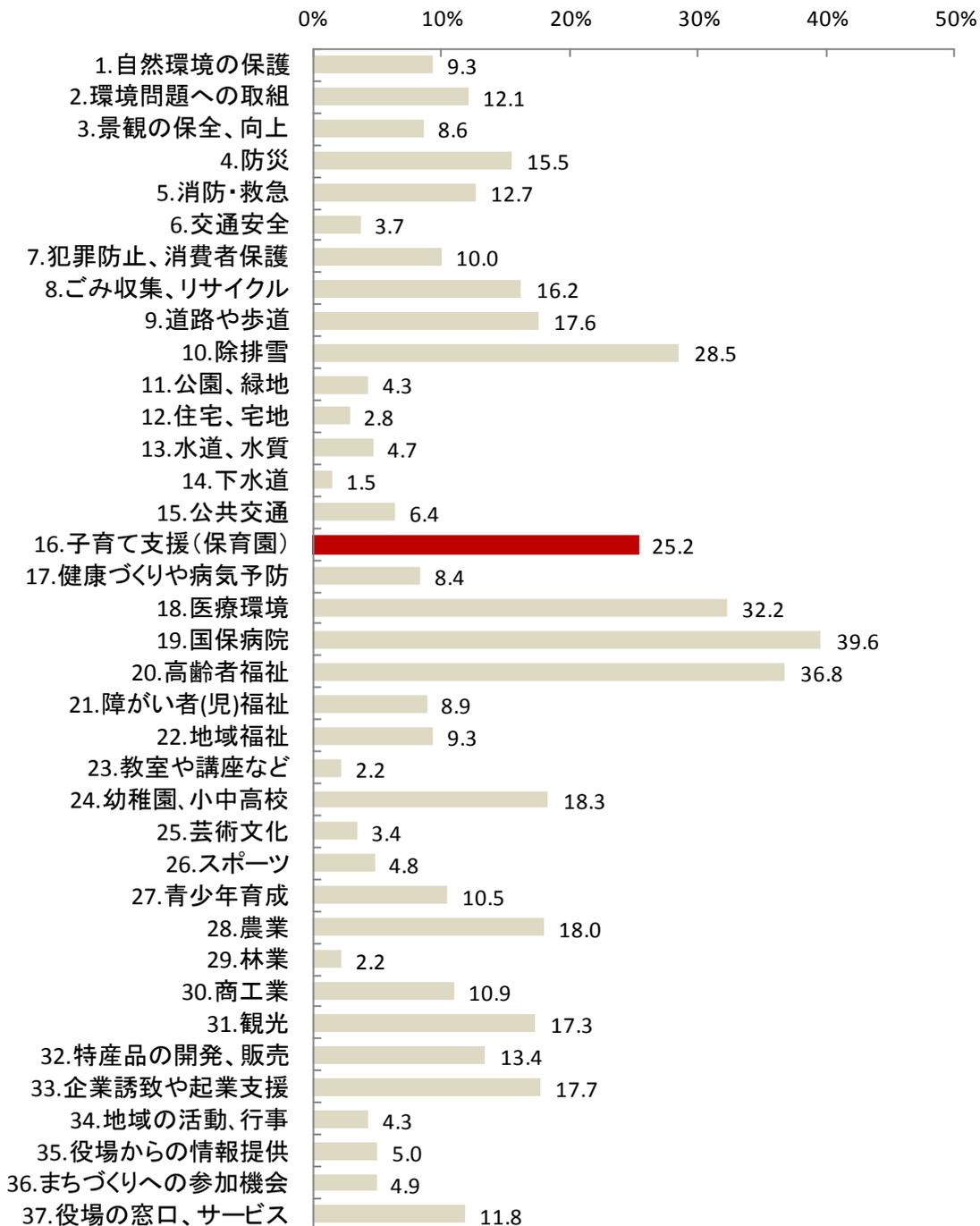
### (1) 関連グラフなど

**【問2】暮らしの満足度・重要度**  
 満足度をヨコ軸、重要度をタテ軸にした場合の位置づけです。

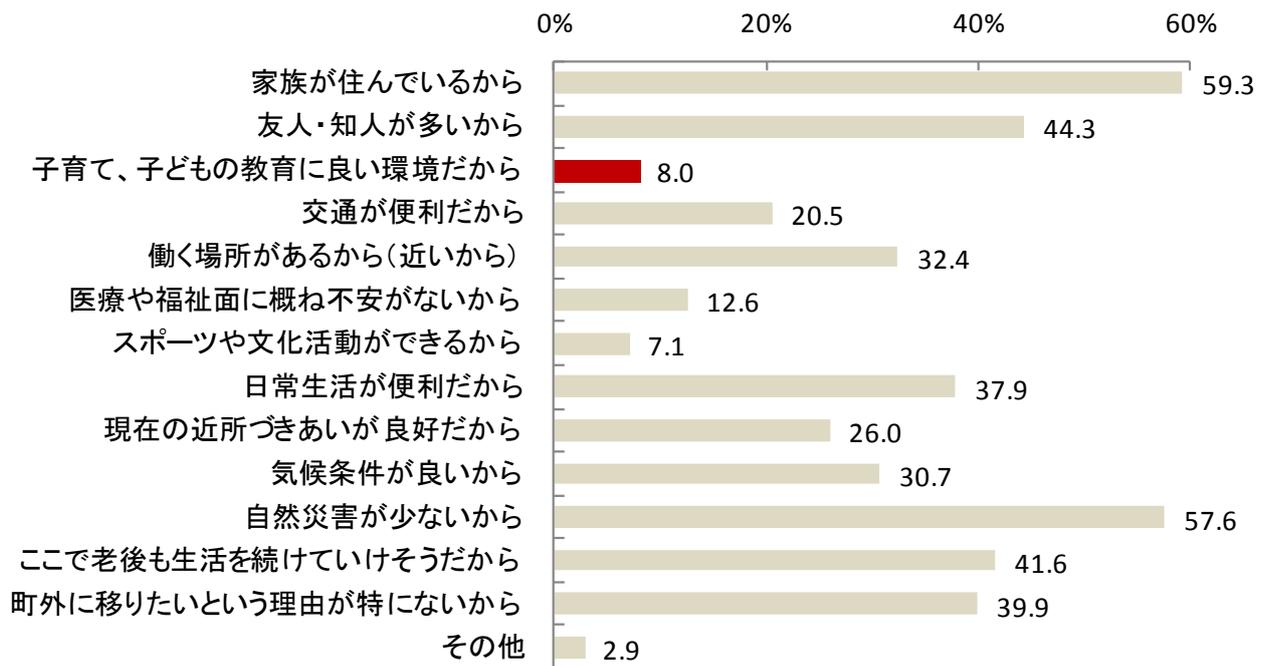
**【問3】特に重要なもの**  
 問2と同じ37項目の中から、特に重要と思う項目を5つ選んでもらった位置づけです。



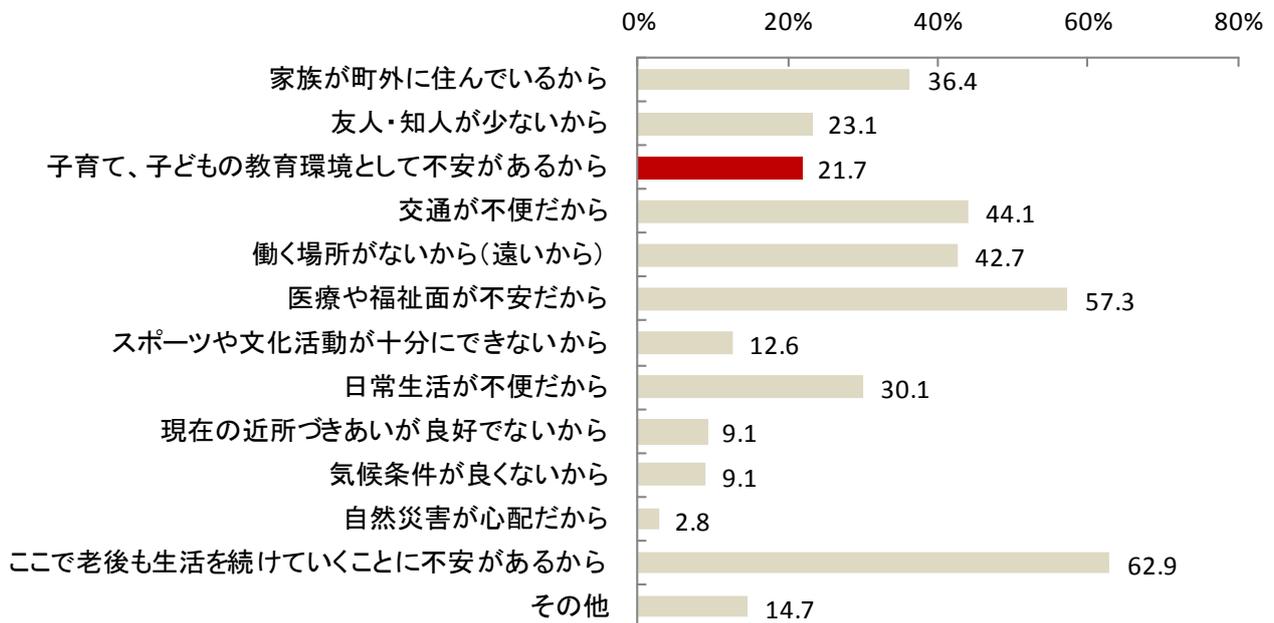
**【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)**



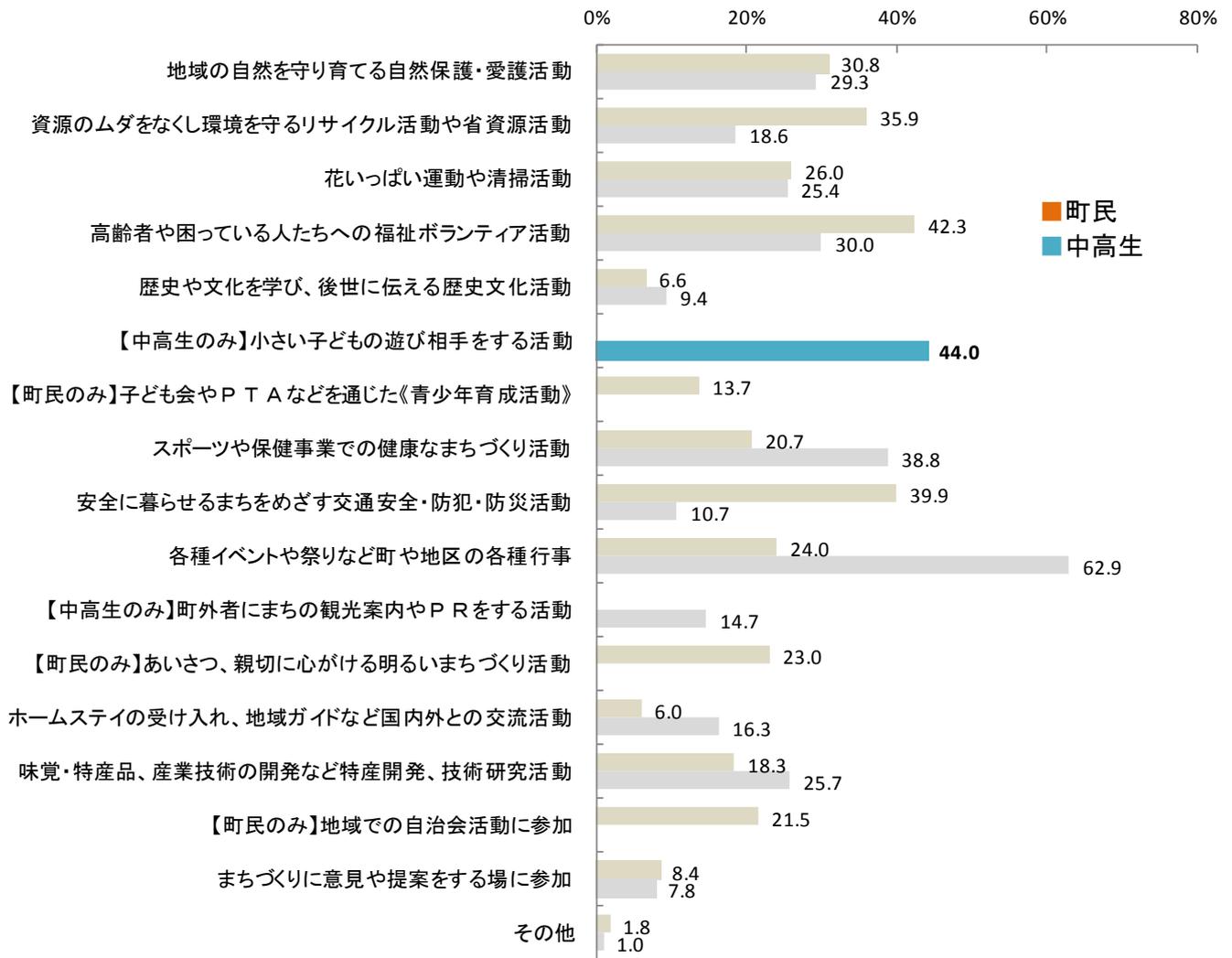
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)



町民 【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)

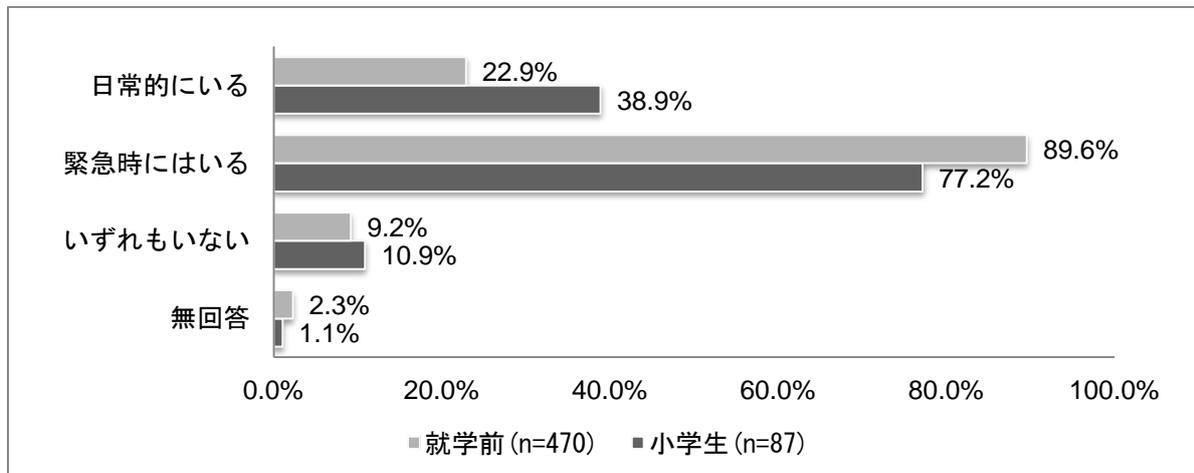


【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択(上段:町民、下段:中高生))

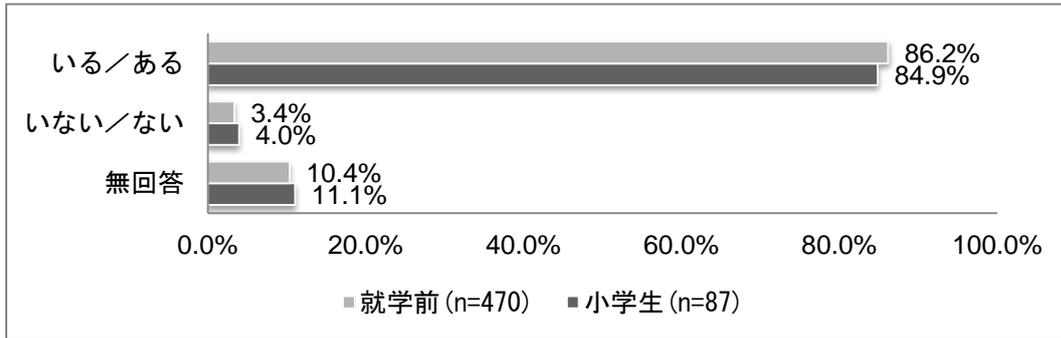


「子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査より (H25.4) ※保護者が回答者

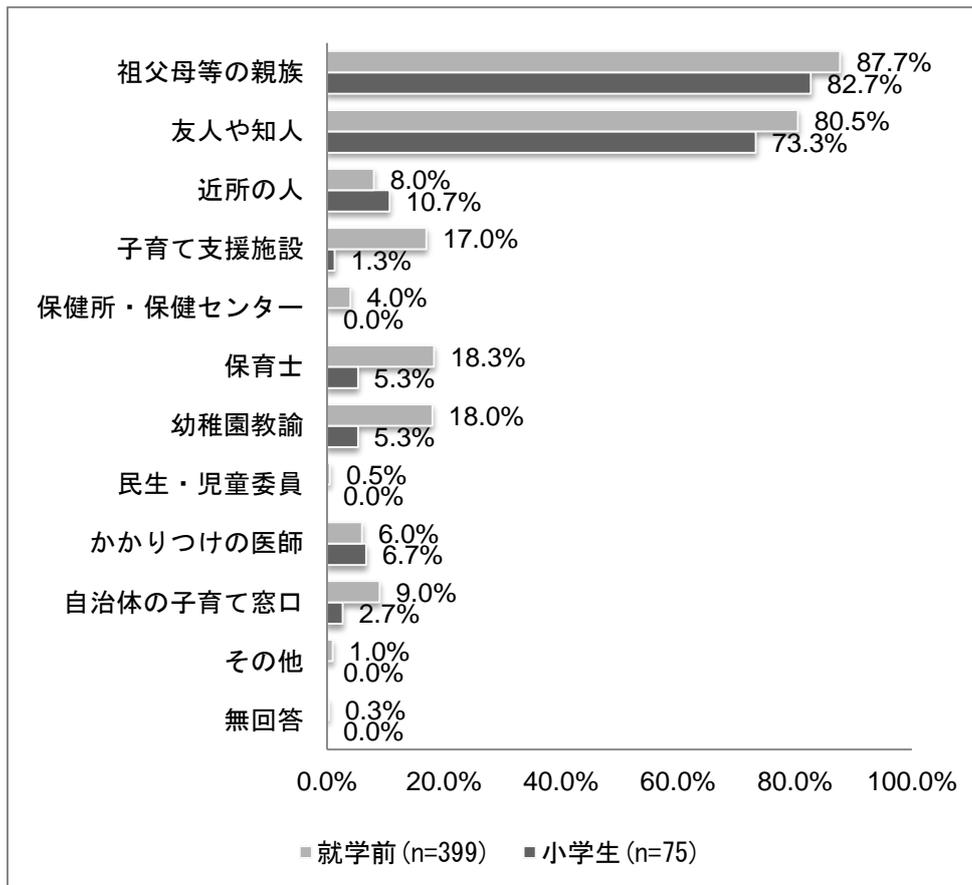
面倒を見てもらえる親戚・知人の有無



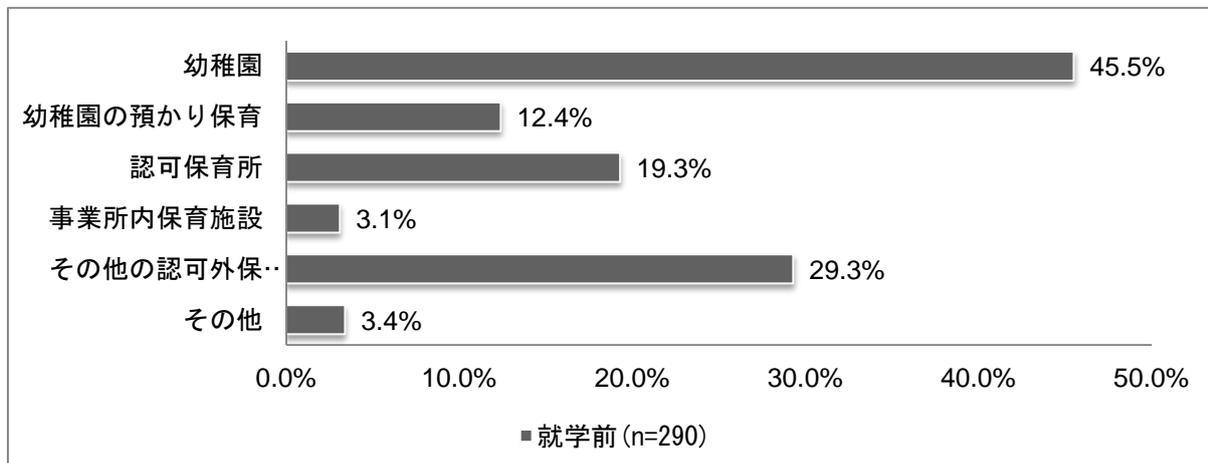
### 子育てを相談できる人又は場所の有無



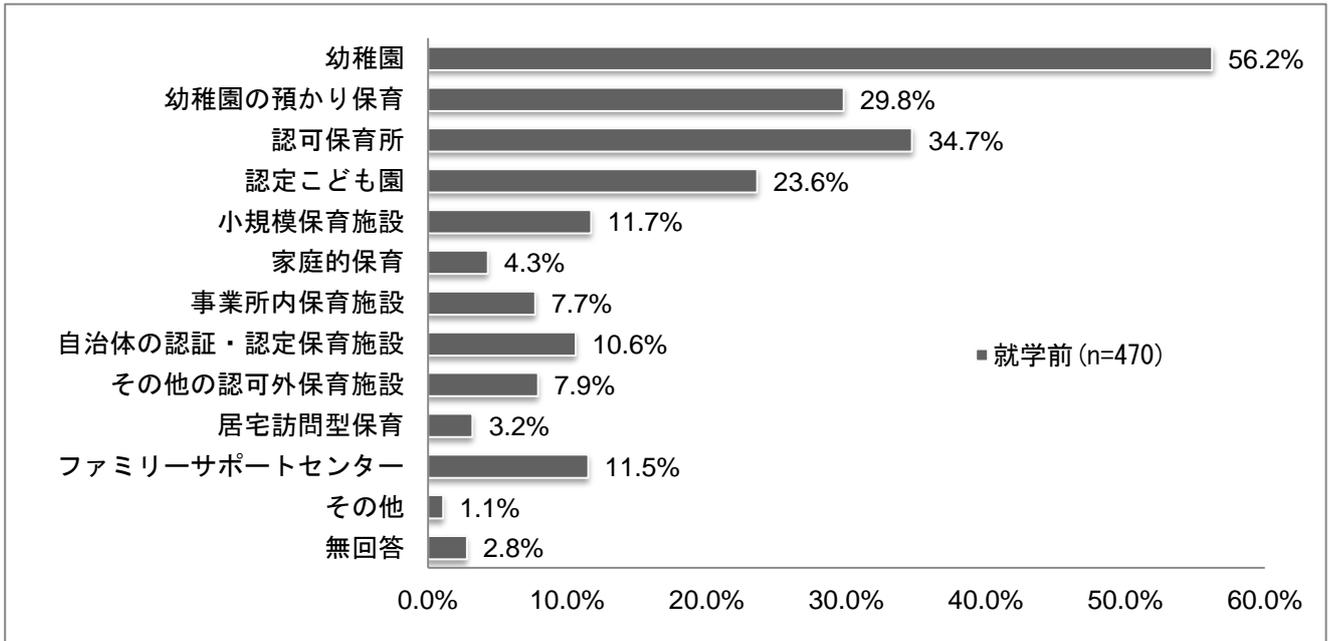
### 子育てを相談できる相手



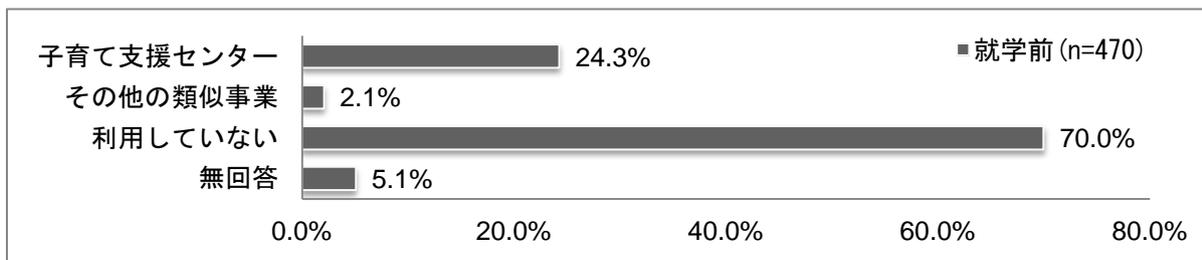
### 定期的にご利用している教育・保育施設



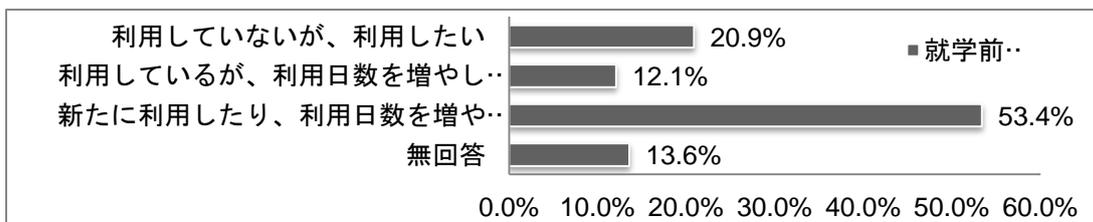
### 教育・保育施設の利用意向



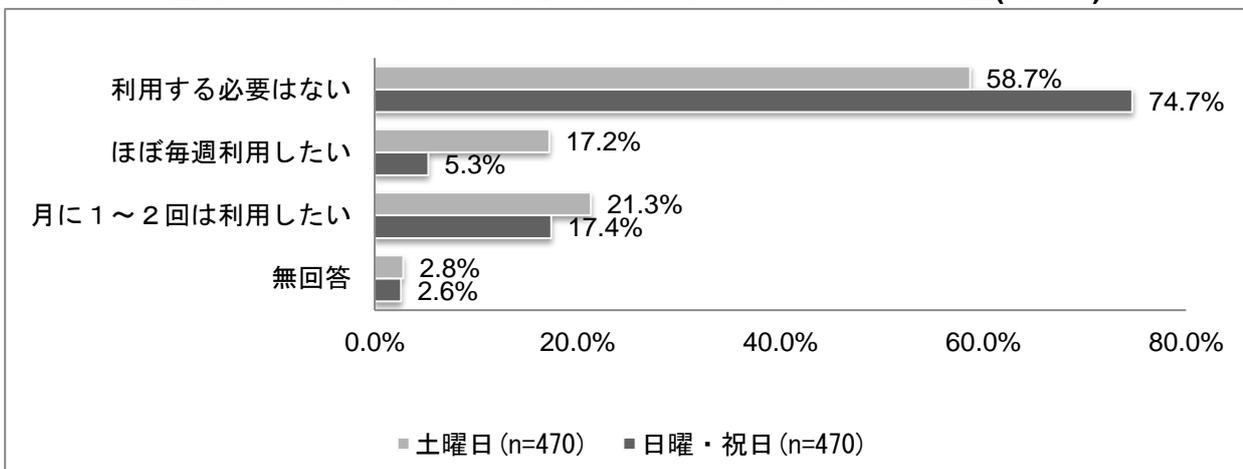
### 子育て支援センターの利用の有無(就学前)



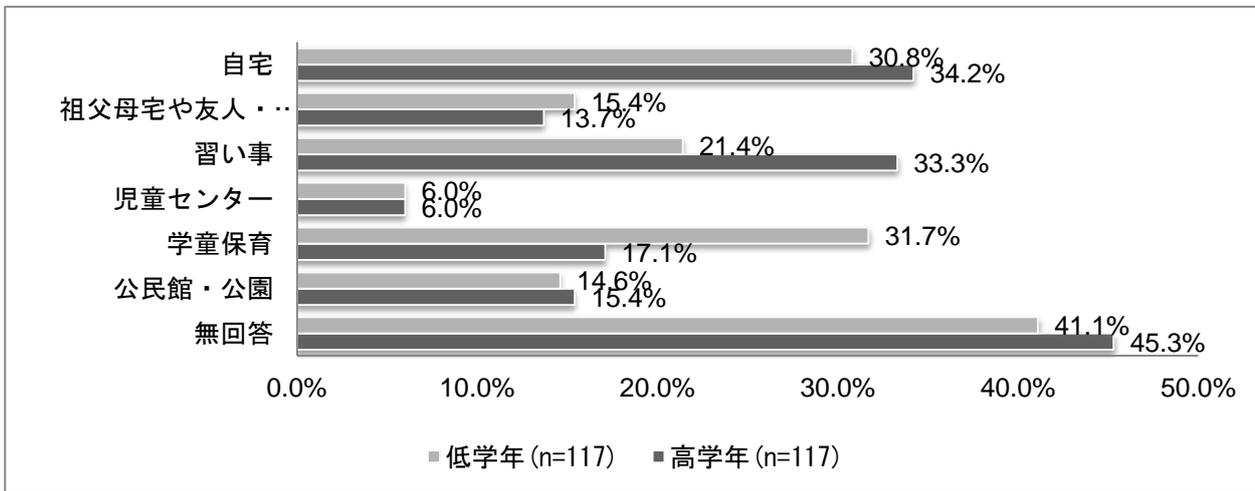
### 子育て支援センターの今後の利用意向(就学前)



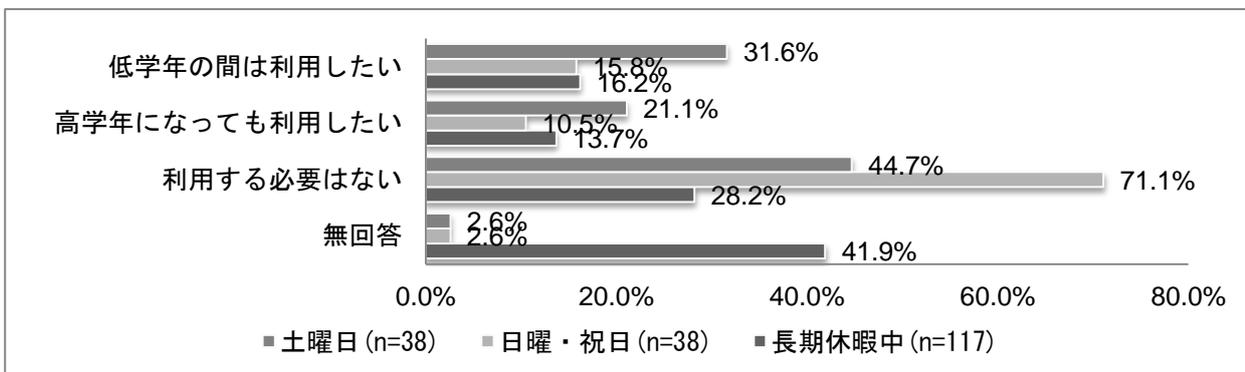
### 土曜日、日曜・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望(就学前)



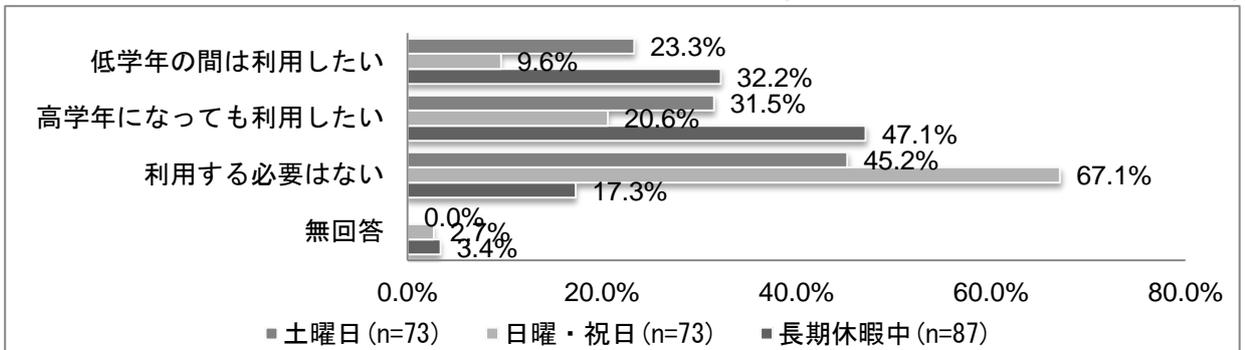
### 小学校就学後の放課後の過ごし方(就学前)



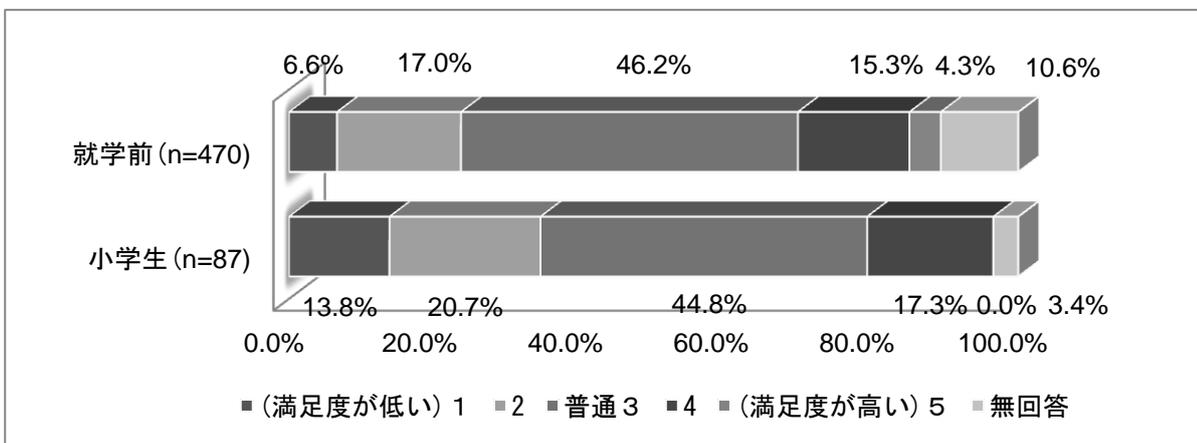
### 土曜日、日曜・祝日、長期の休みの学童保育の利用希望(就学前)



### 土曜日、日曜・祝日、長期の休みの学童保育の利用希望 (学童保育所に通所している小学生)



### 子育ての環境や支援に対する満足度



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
子育てに関する相談・指導の充実	育児に関する相談体制の充実	子育て支援センターへ直接電話相談をしたり、来所した際に育児相談をするなど、その都度職員が対応している。	専用相談室がない。	職員が信頼され相談できる場を設けて、親の育児不安などの解消を図りたい。
	子育てサークル、支援団体の育成	サークルの紹介や開設講座の講師として、利用者との交流を兼ねて遊びの場の提供をしている。	サークル会員の減少により、存続が難しい状況。	センターを初めて利用する方などに、サークル紹介などを行い会員増を図りたい。
	子育てサポーターや保育ママ※などの人材養成	年1回「子育てサポート・ボランティア講座」を実施し、託児ボランティアを養成している。	託児が必要な行事が多い反面、養成される託児ボランティアが不足している。	託児ボランティアを増やしていきたい。
	食育※に関する情報提供や親子料理教室の開催	栄養士による年2回、「離乳食」講座を開催している。他に26年度は調理講座を開催予定。	講師、開催場所、予算及び託児の関係で講座を増やすことができない。	栄養士の協力により、親子の食育の大切さを伝えていく。
	児童虐待の早期発見と速やかな保護をはかる相談体制の充実	各児童福祉施設や幼稚園又は児童の検診時などを通じ児童の虐待などを早期発見し、未然防止も行っている。	保護者の養育能力不足が目立ってきている。	今後も引き続き関係機関と連携を図りながら対応していきたい。
	要保護児童対策地域協議会※による虐待防止支援体制の充実	児童虐待と思われるケースについては、関係機関と協議の上、対策を講じている。	保護者の養育能力不足が目立ってきている。	今後も引き続き関係機関と連携を図りながら対応していきたい。
	次世代育成支援	次世代を育む若い世代の支援を含む広義の「子育ての社会化」を目指した計画であり、その計画に基づき各事業が進められている。	少子化が社会現象となっている。	子ども・子育て支援事業計画を策定中である。
母子の健康管理や経済支援の充実	妊婦健診や乳幼児健診等による母子保健の推進	乳児全戸訪問、各種健康診査、相談事業を実施し、異常を早期に発見し、必要な支援につなげている。	発達障がい児の支援や児童虐待家庭への支援体制の充実が課題	乳幼児期だけでなく就学後も継続した支援ができるシステムの構築
	経済的支援の充実	エンゼルサポート、プレママサポートの実施により経済的支援を行った。		継続した実施
ひとり親福祉の充実	ひとり親家庭への相談体制の充実	児童扶養手当の申請受付、ひとり親家庭医療費助成、母子寡婦福祉資金受付等の実施	特になし	今後も同様の支援を行う
	母子家庭への就業支援	ハローワーク求人情報の情報提供、北見睦会(無料職業紹介所)の情報提供	特になし	今後も同様の支援を行う

保育園(所)の充実	特別保育(一時預かり※、延長保育※、障がい児保育)の充実	町内には2つの通年保育園のほか季節・へき地保育所が4カ所あり、保護者のニーズにあった施設として保育サービスの充実に努めている。各施設は建設後相当年数が経過し、老朽化している。保育に支障がないよう修繕等を実施している。また、各保育園では、一時預かりや障がい児保育を実施しており、保育時間も平日は午後6時、土曜日は午後4時までに変更し長時間保育の拡大を実施した。	少子化により入所児童数が減少している反面、低年齢児の希望者が増加傾向である。また、心身に障がいのある児童が増加傾向である。各施設は経年より老朽している。保育士不足が深刻化しており、保育士の確保と処遇が大きな問題となっている。	少子化で児童数が減少する中で、通年保育園、季節・へき地保育所、民間保育所を含めた今後のあり方の検討が必要であり、子ども・子育て支援事業計画の策定の中で検討する。
	0歳児保育※、休日保育※、夜間保育※の推進	町内の民間保育所では、0歳児保育、休日保育を実施している。	低年齢児保育希望者の増と保育士賃金の増	今後も継続予定
	空き保育所施設を活用した民間保育の推進	民間保育所を利用する0歳児から2歳児までの保護者に対し、保育料が町立保育園に入園した場合の保育料より高い場合、補助金を支出している。	保育料のアップによる補助金総額の増。	町が担えない部分に対する保護者への補助は必要である。
学童保育の充実	学童保育所の機能の充実	留守家庭となる児童(小学1~3年生)の健全育成と福祉増進を図るため、市街地の小学校内に開設している。	一部の学童保育所では利用児童数が増えている。	法の改正により対象学年が6年生までとなり、どこまで対象とするか協議予定。
	児童センターの利用促進と地域ボランティアの参加促進	地域子どもたちに健全な遊びの場を提供し、心身とも豊かで健康的な子どもたちの育成を目指して開設している。	町内に1カ所のため、利用者が偏っている。	今後も継続予定

※子育てサポーター、保育ママ：仕事や疾病等の理由で保育ができない保護者に代わり、自宅等で家庭的な雰囲気の中で少人数の保育・託児を行うもの。

※食育：栄養の偏り、不規則な食事、安全性の問題や食文化の継承など、生産から消費まで一貫した「食」に関する考え方を、家庭、学校、保育所、地域等を中心に育むことを国民が総合的に推進すること。

※要保護児童対策地域協議会：児童福祉法に基づき、地域の病院、学校、保健所、児童相談所、警察等の関係する機関とNPO、ボランティア等の関係団体が連携・協力し虐待など要保護児童やその保護者に関する情報交換や支援内容の協議を行うための協議会。

※一時預かり：保護者の勤労形態により家庭での保育が断続的に困難になったり、保護者の傷病、入院、育児疲れ等により緊急一時的に保育を必要とする幼児に対する保育。

※延長保育：保育園の開所時間の前後の時間において、さらに時間を延長して行う保育。

※0歳児保育：生後概ね4カ月を超え満1歳を超えない乳児の保育。

※休日保育：保護者が仕事のため、日曜日や祝日に家庭で幼児を保育できないときに行う保育

※夜間保育：開所時間が概ね午前11時から午後10時までの時間帯に行う保育。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生   ● : 中高生   ⊗ : 育児ママ   ♪ : 自衛隊   ⌘ : 高齢者   ● : 町民   ○ : 職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 児童館

♪ 子育て支援センターは有り難い。

♪ 子どもを対象としたスポーツ教室（キッズビート）は子どもが喜んで参加している。

♪ 保健師さんは親身になってくれるので有り難い。「お兄ちゃんは元気ですか」と声をかけられるなど、きょうだいのこと覚えていてくれて嬉しい。

- 子育て支援の充実。(女性・30代)
- 子育て支援の充実(室内遊具、特に土日でも利用できる施設、預り保育、地域内の相談員の増加、公園内の遊具の老朽化の改善)(女性・30代)
- 町の繁栄には、次世代(若い人、子供)がいかに住み易いかにあると思うが、残念ながら離れていく現状が見られる。子供を産みやすい環境の整備、美幌町独自の政策を…。日本全体に言えるが、少子化対策のための子育て支援と手当等拡充が必要と思う。(男性・40代)
- 未来のまちづくりを担う子ども達の育成に、財源を含めて力を入れてほしい。言葉が悪いかもしれないが、先行投資をすることで、将来美幌町に何かしらの形で返ってくると思います。(男性・40代)

<助成>

♪ おむつ用の袋をまとめてもらえるのは有り難かった。

- 大空町みたいな子供を育てやすい環境づくり。毎月幼稚園費用の負担が大きすぎる。(大空町は月々5,000円。)子供の医療費を中学校くらいまで免除。人口が減少しているので、子供を育てやすい環境づくりに力を入れてほしい。(男性・40代)
- 例えば、給食の無料化や高校生までの児童手当など…(女性・40代)
- 子育てのしづらさを10年前から感じています。保育園、幼稚園等の費用が高い。後で補助が出るなら、初めから前年所得で引くとかできないものか。水ぼうそう、おたふく、インフルエンザ等々ワクチンの補助も必要。また、小学生の学年費(これは本当に必要なのかギモン)や絵の具セット、ハーモニカ等々の購入費が大きい。(女性・30代)
- もっと子供を育てるのに力を入れて欲しい。育児や仕事に力を入れるように町で協力して欲しい。保育料の一定や、年末に金額が戻ってくるのではなく、毎月の負担を減らしてもらわないと、毎月が大変な家がゴロゴロあります!!年末にどーんと戻されて嬉しいけれど、1ヶ月1ヶ月がきつきつなので意味がないです。そこら辺の解決をして頂きたいです!!(女性・10~20代)
- 近隣の町では、子供(小学生)の医療費が助成されるようになったと聞きました。美幌町でもぜひ、取り組んでほしいと思います。(女性・30代)
- 保育料が高く、子供も沢山ほしいが、経済的にもムリ。(女性・30代)
- 予防接種の「おたふく」「水痘」のワクチン代を町で負担してほしい。今は自費なので。(女性・30代)
- 子育てに関しては保育料が高い。(都市ならともかく…という額。自衛隊を基準にしないでほしい。)(女性・10~20代)

- 少し前まで違う町に住んでいました。そこは子育て支援が充実していて医療費が中学生まで無料でした。保育料は美幌の方が1万円以上も高く、子どもにお金がたくさんかかるようになりました。大きな町だから子育てもきっと充実しているんだろうなあ〜と期待を持って転入してきましたが、期待はずれでした↓（女性・10～20代）
- 大空町の様に、中学までの子供の医療費の無料化を考慮して頂きたいです。また、町の施設は、せめて小中高生は無料にしては？（女性・50代）
- 中学生（義務教育）まで医療費の無料化、中学生（義務教育）まで学校給食費の無料化など、思い切った施策をすべき。（男性・70代以上）
- 少子化対策をしないと美幌の子供達が減り、美幌の将来が不安なので、子育てしやすい対策を早めに考えた方がよいと思います。税金や物価が上がり給料がアップしないので、小6までか中3まで医療費を無料にするとか、インフルエンザワクチン接種料金を無料にするとか、他の市町村のよいところを少し取り入れた方がよいと思います。（女性・40代）
- 美幌町は少子高齢化がどんどん進んで、人口がどんどん減っています。フランスのような税金は払えませんが、少子化政策を少し取り入れて、3人目を出産したら、通院費や学校に関わる費用などの補助が手厚くなるなどのことをするといいいのではないかと思います。（女性・30代）
- “愛するふるさと”を作ることが、まちづくりだと思います。子育て（の費用）は、小さい時より大きくなってからの方がかかります。小さい時にお金をバラまいても、親世代は低収入なので、生活費の一部となり消えてしまいます。小さい時にバラまかないで、高校生の時に何かで補助をするとか、親世代に低金利で奨学金を貸し付けるとか…。わがふるさとが私を支えてくれた、という気持ちや感謝があれば、この町に帰りたい、恩返ししたいと思うのでは？（女性・50代）
- 保育料の免除。何人目以降免除など。
- 中学3年生まで医療費助成。
- 子どもにかかる医療費助成の充実を図るため、地域の医療機関と連携をして取り組みを行っていく。
- 乳幼児医療の対象年齢の引き上げが全国的に行われている。先行自治体の施策の目的等に準じ実施することにより定住促進効果も考えられる。また、財源は福祉施策の充実として消費税の地方配分を活用できるのではないかな？
- 保育費負担軽減。共働き夫婦で保育園に子供を預ける場合、保育料の負担が大きすぎる
- 第3子以降出生報償金。夫婦二人で二人の子供を育てて±0、3人目以降は社会に多大な貢献となる現代、100万円程度の報償金出しても良いのでは。
- 子ども4人目からの世帯に対する施策（保育料減免、給食費減免、公営住宅家賃減免などあらゆるサービスに対して減免措置などを実施する。）
- 子たくさん家庭に毎月お米を5キロ支給。子どもが4人以上いる家庭に支給。子どもがたくさんいる家はお米がすぐなくなるので、すこしでも家計を応援する。
- 0歳から子供を預けて働けるように、更に預ける費用負担も軽減できると共働きも助かると思う。
- 高学歴社会が現実である中、日本の高校を超える教育費は多額であり、保護者の負担感は相当なものであるため、負担軽減策を講じることによって少子化対策になるのではないかな。
- 高校卒業までの教育費助成
- 身近な人達が不妊治療をしていて子どもができなく悩んでいます。子どもが欲しくても、人工授精に1回60万など高額です。不妊治療に対する補助などもあれば、子どもが欲しい夫婦などはもしかしたら美幌町に転入してきたり、また今いる美幌町民の人口増にもつながる

## <不安の解消>

- 子育てや教育のための地域組織の構築。地域とのつながりが希薄化していると感じます。育児不安を解消するために、子育てサークル活動を充実させる必要があると思います。身近な地域の助け合いの精神に基づいた相談、情報提供が必要だと感じます。

## <地域での子育て>

- 子どもの預かりボランティアなど
- ご近所ベビーシッター制度（休日等にも仕事がある親が近所の方に子供を預けられるような制度。預かる方にも町から手当を支給する。）ご近所付き合いが希薄な時代だと感じるのでそのきっかけになるような制度が必要。中高年層の子育て経験を活かせることが出来ずし、子どもも地域の方との交流が増えます。ただ近所の方が信頼のおける方なのか判断するのも難しいですし、手当を町がどこから捻出するのかなど課題はあるかと思っています。
- 一時預かりや託児ママさん、幼稚園・保育園・学童保育のニーズは高いが人材や場所が少ない。ボランティアや専門職の育成や採用、専門職のアイデアを生かした新しい施設設置や既存施設の利用などしていく。
- 広報や回覧板などでどんな町民がいるかを周知し、声を掛け合ったり、顔見知りを増やしたり、協力しあえる環境作りをしていく。また、身内や近所から始めたり広げていく事で職場にも理解・協力してもらえるようになっていたら良いと思う。
- 働きたいけど保育園や幼稚園に子どもを預けることができない、短期間でいいから気軽に子どもを預けたいという方もいるので、そういう子育て中の親を応援できる制度があればと考えている。たとえば、退職されて時間に余裕のあるご高齢の方々を集めて、託児についてレクチャーし、ボランティアという形で託児を引き受けてもらえるような取組ができたらと思う。ご高齢であっても女性の方は育児のプロなので、お母さんたちも安心して子どもを預けることができると思うし、また子どももご高齢の方と関わる機会が増えていろんなことを学ぶこともあるのではと思います。

## <保育時間、託児>

- ⊗ 土日や夜間に子どもを預かってもらえるところがない。
- ⊗ 病後児保育ができるところが町内にないので、北見まで行かなければならない。
- ⊗ 町の行事やしきっとプラザ、サークルなどに参加したいと思うが、託児がないと難しい。託児があればと思う。
- 子育て支援をもっと広げてほしいです。預け先がない（親が離れている為）など困ります。（女性・10～20代）
- 働くお母さん方の子供達を預けられる場所を増やしてほしい。（学童などちょっと高めなので）（女性・30代）
- 児童施設を作る。（男性・30代）
- 急速な少子化に対応して、安心して子育て出来る環境を大至急整える。（男性・60代）
- 休日や夜に子供をあずかってもらえる所がない。緊急時、あずかってもらいたい時に困る。（というか、あずける所がないので行動できずにいる。）（女性・10～20代）
- 転勤などで美幌に来た人達が困らない様に、1時間からでも子供を預けられる場所があればいいなと思います。そういう場所があれば親も助かります。実際、ストレスで病気になってしまった方を見ているので…（女性・30代）
- 3歳未満の子をもつ親が丸1日ゆっくり過ごせるように、無料で月1回預かってくれるサービスがあればいいと思う。（女性・30代）
- 以前住んでいた町は保育所の時間が7:30～19:00で、女性が働きやすく、保育所が拡大し幼稚園が減少という状態でしたが、美幌は逆です。美幌では、小さい子がいる親は、フル

タイムで正職員で働くことはとても難しいです。もっともっと子育てを充実させていけば、子どもが増えて若いパワーがたくさん実る美幌町になると思います。(女性・10~20代)

- 町の保育園の終了時間が18時までで、延長保育がないのがありえない。働いている夫婦にとっては住みづらい町。小学校の学童も時間が早すぎる。延長してほしい。北見では児童館で19時までみていてくれるから、親も安心して働ける。改善してほしい。(女性・40代)
- 学童保育を小学校6年生までにする。18:00までにする。
- 保育所、学童保育の時間延長
- 病院内託児・保育所。核家族化が進み、子育て世帯では急病の場合の子どもの預かり場所がない。簡単な手続きでとりあえず子どもを預けられる場が必要である。新たな施設を作るのではなく現状でできる場所が無いか検討すると同時に、保育士の雇用拡大が必要。

#### <関連施設>

- ⊗ 雨が降った時に遊べる場所がほしい。博物館は小さな子どもにはちょっと難しい。(町外だと、北見にある「オホーツク木のプラザ」や網走にある「道立オホーツク公園」、津別にある「道立津別21世紀の森」、中標津にある「道立夢の森公園」のような)
- 子供達の遊べる所が少ない様になります。思い出の無い町に、人は戻って来ないような気がします。(男性・40代)
- 子供が遊べるような屋内施設があると良いと思う。美幌に子供と遊んで過ごす場所がないため、結果町外へ足を運んでしまう。大きな施設があると町外からも美幌へ来ると思う。子供がいる世帯は、子供中心に休日等を過ごすので、より美幌町内でも過ごせる環境があると良いと思う。またそのような施設等は1ヶ所にかためてほしい。(男性・30代)
- 図書館・こども園(又は保育園)等の教育施設の充実。未来を担う子どもたちの環境整備を目的とする。既存施設の跡利用(取り壊しを含めた検討)、私立幼稚園等との協議調整が課題。
- 幼児期に通える全天候型の施設整備の検討
- しゃきっとプラザのプレイルームのような、簡易な小さい子があそべる場を町内の各地に作る。例えば、林業館の2階に木のおもちゃの遊び場など。
- 町には児童館のような子どもたちが下校後や休日に自由に遊べる場所が無い。遊びを通して、学ぶこともたくさんある。
- 子どもや家族が休日に遊ぶことができる施設。近隣町村の子ども、家族が、休日遊べるような場所をつくる。休日など、北見市等へ出かけ、美幌で過ごしていないため。
- 子育て支援センターの建設。既存の施設は、コミセンに併設されていて狭いし、休日開放が月1回と利用しづらいので。
- 子育て支援関係の施設の集約。施設が古くなり、在園児が少なくなると保育施設を整理してコンパクトにするか、逆に支援センター等施設をまとめて一つにする。保護者のニーズが複雑または多様過ぎて1箇所では保育士の手が足りなくなってしまうのですぐにお互いを助け合えるようにする。夜間保育に関しては、現状の保育施設では、保育しづらい所もある。
- 子どもが健全に育つ環境作り。三歳以下向けの遊具設置や安全点検の強化をして親子で遊べる公園を充実させたり、親子で参加出来るイベントを企画して親子が楽しむと共に友達作りも出来るように進める。健やかに育っていく為に関係機関の連携を図り、子どもの成長を共有理解したり発達を見守ったりしていく。
- 保育園施設の改修。総合計画には0歳児保育の推進とあるが、現在の施設では実施することができない。未満児保育のニーズの高まりもあるので、定員増も視野に入れた改修を検討してみてはどうか。0~3歳児保育を充実させれば、子育て世代の若者も暮らしやすく、人口増にも繋がると思われる。課題は、改修に当たっての予算的な面と、保育士の人員確保など。

### <ひとり親支援>

- ひとり親家庭に指定のゴミ袋を月に1回支給。
- 母子家庭の支援。すべてカットは大変。もう少し違う支援を。
- 私的な問題のため離婚防止にまで踏み込むことは容易ではないが、相談できる場所を設けるなど対策ができないか。離婚後のひとり親家庭への支援は、扶助費にとどまらず、現実的な子どものサポートが必要である。特に祖父母など親族の援助が受けられない場合は、生活面・学習面いずれにおいても第三者による環境整備の支援が必要

### <その他>

- ⊗ 町内にある公園の情報(場所、設置されている遊具、写真など)を集めて地図に掲載した「マップ」をつくってはどうか。子育て支援センターに貼るなど。
- ⊗ 子どもの身長と体重を量れるものを、公共施設においてほしい。
- ⊗ 子ども2名が乗れるよう、椅子を固定する自転車は限られており、高い。利用する期間は限られているので、貸出をしてくれるところがあると嬉しい。
- ⊗ ベビーカーやベビーベッドの貸出ができるところがあると良い。
- ⊗ 父子手帳をつくってはどうか。
- 子育て支援に関する情報が少なすぎる。子育て広場などを利用できる方は良いが、働いていたら行けない。支援の情報が入らず、一時預かり等、困った。(女性・30代)
- 子供を産んだ後の支援体制は、今まで色々な所に住んできた中でも上位だと思うが、やはり美幌町内で子供を産めない。(産科の)入院環境がない為、出産時の入院等で上の子をあずける、または短期ステイを受け入れてくれる所が無いというのは、身内がいない人にとって大変辛いところであると感じた。そういった面では、妊娠出産の際には大変な面があると思う。(女性・30代)
- 保育園や幼稚園などで、障がい者や発達障がい、自閉症などの対策もあれば安心できる親が増えると思います。この内容があれば町外から来る人もでると思います。(女性・10~20代)
- 学校では保健体育はあるが育児の仕方楽しさについては教えてくれない。育児が大変だという意識ばかり広まっている。若い世代に育児は楽しいことだと知ってほしい。赤ちゃんの扱いについても学べる場がほしい。
- 親子関係が希薄になってきたり親子の時間が少なくなったりしているので、大切さや関係を築けるような講演やイベント、授業内容などしていく。
- 美幌町は、幼稚園、保育園から中学校までの十数年間で、英語をマスターできるようにするなど、美幌で教育を受けた子は、これが優れているといったものを作る。
- 臨時保育士の賃金アップ。臨時保育士の賃金を毎年又は、3年に1回とか少しずつでも上げてほしい。臨時保育士がいないと保育園が運営出来ないのが実態なので。臨時保育士という言葉が、一般的にはお手伝いの聞こえる所もあるので、仕事とのギャップは大きいとも思われます。